

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 42	下水道事業（企業会計）	☐ 法定受託事務	
所管課	都市整備部 下水道整備管理課		評価者 下水道整備管理課長 杉浦 康史	
下水道事業	会計	款	項	目
総合計画上の位置付け	分野名	下水道・河川	施策の方針名	下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等	意図	老朽化した下水道施設を計画的に維持管理し、安定的な下水道事業運営を行う。
効果	安定化した下水道処理が図られ、市民の生活環境の保全を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	汚水及び雨水の点検・調査・清掃・築造工事・改築工事	汚水及び雨水の点検・調査・清掃・築造工事・改築工事	汚水及び雨水の点検・調査・清掃・築造工事・改築工事
予算額（千円）	895,762	892,612	
国県支出金			
地方債	237,700	380,300	
その他	254,581	217,271	
一般財源	403,481	295,041	0
当初人員配置数	6.5	8.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0
事業実績	汚水及び雨水の点検・調査・清掃・築造工事・改築工事	汚水及び雨水の点検・調査・清掃・築造工事・改築工事	
決算額（千円）	589,335		
国県支出金	768		
地方債	259,400		
その他	83,934		
一般財源	245,233	0	0
人員配置実績数	8.5	8.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	不明水対策	地区	3/5	㌞	4/5		
活1	実績につながる活動	鎌倉処理区の中部中継ポンプ場に流入するエリアにおいて、雨天時に污水管に浸入する雨水の調査を行った。				13,009		
活2	指標名	緊急輸送道路・軌道下及びコミュニティ・プラントにより排水されていた開発団地内の污水管の修繕・改築	km	0	㌞	0		
	実績につながる活動	開発団地内の污水管の修繕・改築の計画を策定した。				164,105		
活3	指標名	雨水施設の修繕・改築	km	0	㌞	0.022		
	実績につながる活動	逆川排水区を実施した。				15,906		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活3において、開発行為との調整により、発注を令和8年度に延期した。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	污水管の修繕・改築計画が策定され、予防保全を行う準備が行えた。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1	下水道施設の緊急度Ⅰ・Ⅱの修繕・改築計画の進捗率	%	0	㌞	0			2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	開発団地内の污水管の修繕・改築をするための計画を策定し、今後計画的に污水管の修繕・改築を行うことで、安定的な下水道の使用と道路陥没等の危険性が排除できる。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	本事業を実施することにより、広範囲に及ぶ下水道の使用制限等を伴う事故は発生せず、成果指標を達成している。あわせて、老朽化・脆弱な下水道施設の早期改築更新及び将来にわたり安定的な下水道事業の運営に寄与している。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	■ 十分に出ている	□ 概ね出ている	□ 出していない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
方向性	公平性	受益者負担	■ 導入済	□ 導入予定	□ 導入できない
		評価実施年度の方角性	⇒ 評価実施翌年度以降の方角性		
	事業内容の方角性	■ 事業内容は現状通り	■ ① 事業内容は現状通りとする		
		□ 事業内容は見直し済	□ ② 事業内容は見直す	→ □ 拡大	□ 縮小 □ その他
		□ 事業を休止又は廃止済	□ ③ 事業は休止又は廃止する		
方向性		□ 他事業と統合済	□ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
	予算規模の方角性	■ 予算規模は現状維持	□ ⑤ 予算規模は現状維持とする		
		□ 予算規模は拡大済	⇒ ■ ⑥ 予算規模は拡大する		
		□ 予算規模を縮小済	□ ⑦ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性はない		
総評	下水道事業経営戦略のあるべき姿である「老朽化・脆弱な下水道施設の早期改築更新」と「将来に亘って安定的な下水道事業（下水道ストックの管理運営）」を確実に執行するため、投資計画に基づく発注を行っている。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		各々の下水道経営戦略に基づいて事業運営していることから、他市比較が適切でない。							